

事務事業評価表(既存事業)

コード 12-3-6	事務事業名 地域教育協力者活用事業	所管部課 学校教育部指導課					
事務事業の概要	事務事業の目的 特色ある教育の推進及び教育活動の充実のため、積極的に地域の人材を活用し取り組むことを目的とする。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)学校教育の充実(創2-3) (主要施策)地域教育協力者の積極的な活用					
	実施内容、実施方法 各小・中学校で地域の教育力を生かして、ゲストティーチャーとして児童・生徒の指導に当たってもらうための事業。	根拠法令等 西東京市教育計画(教育プラン21) 西東京市地域教育協力者活用事業実施要項					
	事業開始時期 平成 13 年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				
評価指標の設定	活動指標名 協力者活用数	活動指標の考え方(定義) 学校で協力者として活用した人数					
	成果指標名 活用事業数	成果指標の考え方(定義) 学校で協力者を活用して実施した事業数					
事務事業データ			単位	14年度	15年度	16年度	17年度
	事業費(A)		千円	41,065	14,649	15,045	14,325
	国庫支出金						
	都支出金			23,064			
	地方債						
	その他						
	一般財源			18,001	14,649	15,045	14,325
	所要人員(B)		人	0.20	0.20	0.20	0.20
	人件費(C)=平均給与×(B)		千円	1,649	1,655	1,666	1,666
	総コスト(D)=(A)+(C)		千円	42,714	16,304	16,711	15,991
	単位当たりコスト (E)=(D)/(活用事業数)		千円	78.09	25.76	28.81	
	歳入		千円				
	活動指標	目標値	人			1,600	1,600
		実績値	人	1,094	1,360	1,580	
活動指標	目標値						
	実績値						
成果指標	目標値	事業			650	650	
	実績値	事業	547	633	580		
成果指標	目標値						
	実績値						
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	学生ボランティア活用、特に専門性の高い部活動指導員の活用が評価を得ている。					
	国・都・他市・民間等 における類似事業	他市でも実施。					
	運営上の制約条件・ 外部要因等						

コード 12-3-6	事務事業名 地域教育協力者活用事業	所管部課 学校教育部指導課
---------------	----------------------	------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	十分な成果を上げ、ほぼ目標に達している。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	各学校の特色もあり学校の格差も生じているが、中学校部活動の増に伴いエキスパート活用が増えてきており、教育活動において必要性の高いものである。
	効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	謝金の見直しを行い、事業が多く活用できるよう適正化を図る。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	各学校の裁量で実施されているため、事業活用の格差が生じているところであり、サービスの対象に多少の問題がある。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	毎年見直しを行っているところだが、謝金・活用内容等適正に活用されているか精査する必要がある。

17年度における改善点	謝金・活用内容等適正に活用されているか精査し、改善する。
-------------	------------------------------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。